

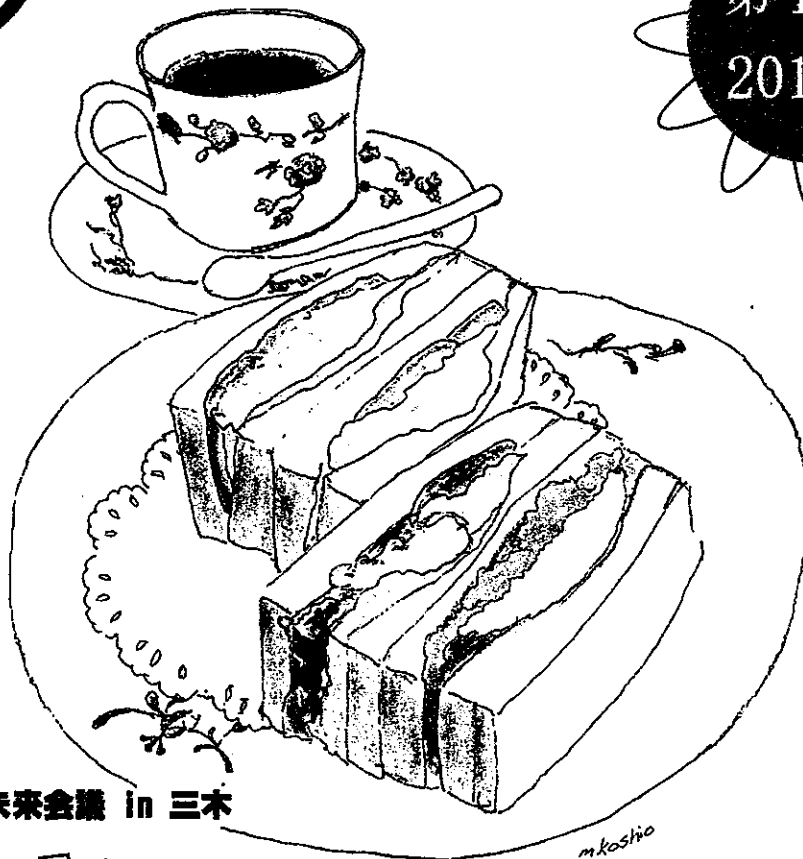


~しよう

Collabration
コラボレーション
(共同、協働)

みんなで
男女共同参画社会実現に向けて
活動しようよ!

第12号
2010春



第19回ひょうご女性未来会議 in 三木

みんなきらきら つなごう未来へ ~わたしたちのチャレンジ~

三木のさわやかな自然に囲まれたリゾート地、グリーンピア三木において、
三木市の元気な女性たちが、パワーを発信します!!

日時：平成22年5月22日(土)
13:30~18:00(受付開始12:30~)

場所：グリーンピア三木 ~グリーンピアホール~

(参加費)

第1部のみ参加 1,000円
第2部のみ参加 3,000円
すべて参加 4,000円

(お問い合わせ)

県立男女共同参画センター内
ひょうご女性未来会議事務局
TEL: 078-360-8550
FAX: 078-360-8558

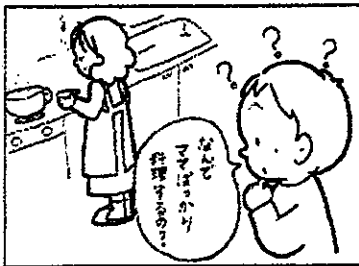
三木市男女共同参画センター
TEL & FAX: 0794-89-2331

主催：ひょうご女性未来会議 in 三木幹事会

「子ども」の視点から考える男女共同参画社会

ただいま5歳！料理上手な息子を夢みて

子どもは自分らしく生きている



園/こたいらなおこ 生まれも育ちも三木。小学生の女の子二人の母親として子育てをしながら、趣味を広げている真っ誠中。自然をこよなく愛する三木市大好き人間です。

ある晩、私が夕食作りで台所に立っているとき、息子が一言。「料理するのなんでママばかりなん？パパはしないの？」振り返ると、不思議そうにこちらを見る息子。そうか！子どもには「男は仕事、女は家事・育児」と決めつける考え方がないのね。「男子厨房に入るべからず」は子どもの辞書に（まだ）無い。この機会を逃してはならん、息子にどんどん料理させてみよう♪とひらめいた。大人の偏った社会を刷り込んでしまう前に！

社会が変化してきたとは言え、毎日の料理は、女性が担当している家がまだまだ多い。しかし、夫に今さら料理を教育するのは難しすぎる。鉄は熱いうちに打て！（笑）

息子よ、がんばって～。フレーフレー♪

「パパの料理も食べたいよお～！」 息子がつづけた。



ママ、パパと一緒にいそいそ子育て

兵庫県立子どもの館から「動く・子どもの館号」が、2月7日（日）緑が丘町公民館へやって来ました！お世話するのはこの公民館で毎月1回小さな子ども達とお母さんのためにファミリーサロン「にこにこ」を開いているボランティアさん達。当日は、親子で簡単な体操、手遊び歌、人形劇等盛りだくさんのプログラム。楽しく遊べる手作りのおもちゃに触れる時間もたっぷり。



図書紹介 所蔵の図書は一人2冊2週間まで借りることができます。

最初は泣いていた子、恥ずかしそうにしていた子も最後にはすっかり輪の中に。あっと言う間に時間が過ぎました。

7、4、1歳の3人のお子さんを連れて参加の30代のパパは「家事はできるだけ手伝っています。夕食の後片付けは私の担当。子どもの時に父がごく自然に家事を手伝っているのを見ていたので、別に抵抗はありません」、ママは「同世代のパパ達の中では、とてもよく協力してくれると思います。家事・育児は二人でする方が楽しめ楽しいです」と話されました。

夫婦は身近な人間関係ですが、その関係を大切に考えると家庭で二人が出来ることはそれぞれがするのは、とても当たり前、理屈や建前でないかと再確認した一日でした。このような楽しい機会が子育て中の親子にたくさんあるといいですね。

『ジェンダーの視点から社会を見る』ジェンダー・学び・プロジェクト編 解放出版社

2006年発行 月刊ヒューマンライツに掲載されたリレーエッセイを編集し、単行本化されたもの。ジェンダーをめぐって普通の日常を生きる20人がつづった十人十色の気づきであり、一人ひとりの身近な問題として提起された一冊です。



『うちの3姉妹』松本ゆりつ 主婦の友社 2006年発行 3児の母親である著者が三姉妹の育児奮闘記をブログにして大ブレイク、このまま単行本化されました。日常を面白おかしく描いたマンガです。心が温かくなりますよ。

再就職準備セミナーに参加して～コミュニケーションの大切さ～

2月24日に市民活動センターで開催されたセミナーに行ってきました。出産や育児、介護などにより仕事をやめ、再就職に意欲がある人を対象に、講師から分かりやすいお話を聴くことができました。講師は、色々な企業や就職活動をされている人々を数多く見てこられているので、履歴書の書き方や面接、電話の対応のポイントを楽しく話されました。



不景気といわれるこの時代に、

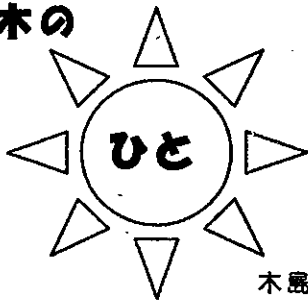
(株)アイデム 人と仕事研究所プランナー
小野山 哲朗さん

どうやって自分をアピールすることができるのか、「それは何を聞いてもまず、やる気や人柄などのコミュニケーション能力が根本にあってこそだ!」ということでした。

普段から相手の話をよく聞き、反応を示したり、こちらからも積極的に相手に意見・提案を投げかけたりしていれば、難しいことではないそうです。偽りの自分を企業に見せるのではなく、過去の失敗や自分の弱点を理解した上で前向きにやっといこうとしている自分を表現すればうまくいくのだとか。

就職活動のときだけでなく、日常でのコミュニケーションの勉強になったセミナーでした。いい職場に巡り会えますように!

三木の



自分の体験を伝えたい!

～一つだけでない生き方～

(元青年海外協力隊 木島久恵さん)



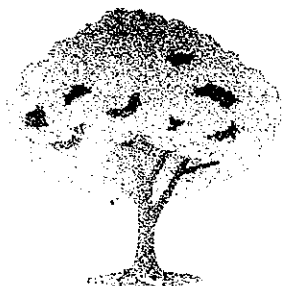
木島さんは、三木市内の小・中学校を卒業、もと

もと理数系が好きだったこともあり、大学・大学院では土木を専攻しました。企業で4年間勤め、海外で働きたいという夢を実現するために、JICAの青年海外協力隊への応募を決意します。研修を経て晴れて中米ニカラグアの地方の市役所へ赴任、「その地域では、私が初めての外国人で、周囲も戸惑っているのが分かりました。心がけたことは、まず現地のやり方を学び認めただ上で、決して押しつけしないこと。あせらずに今まで学んできたことを現地の人たちに伝えました」。時には電気や水が不足する生活に、やっと慣れたと感じたのは1年後だったそうです。

ニカラグアは日本の国土の3分の1に550万の人達が住み、経済的には決して楽とは言えない状況です。貧富の差が大きく、シングルマザーもたくさんいます。しかし、自分の持っているものは他の人に分かち合う、困っている人は家族や周囲が支えるという考えは当たり前。なんでも笑い飛ばす前向きで明るい人達から学んだこともたくさんあったそうです。人々の温かさ優しさも印象的でした。2年間の活動を経て2009年に帰国。

「ニカラグアでの経験から、日本で暮らしていたときは気がつかなかった地域での助け合いの大切さや素晴らしさがよく分かりました。今後は地域にかかわる活動がしてみたいと思います。また、進路やいじめなど様々なことで悩む皆さんには、途上国と言われる国での生活をすすめます。自分の価値観を見直し、殻を破る機会になるのでは」と話す木島さんにこれからも注目です。

※JICA(独立行政法人 国際協力機構)



こらぼーよ

へ行こーよ!

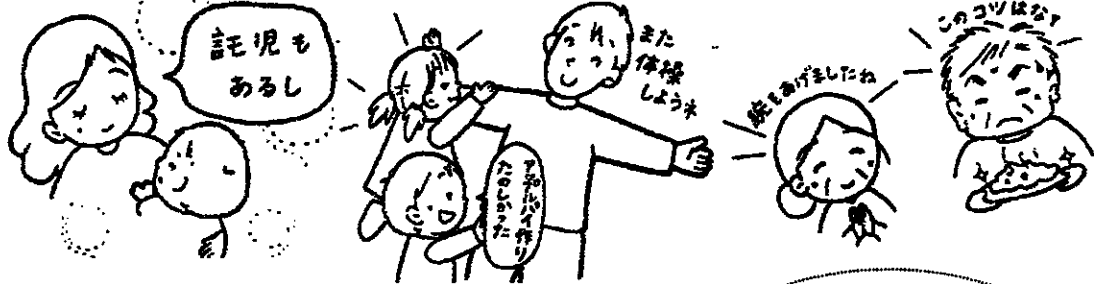
「こらぼーよ」は

三木市男女共同
参画センターの
愛称です

画 /
こたいら
なおこ

参画セミナー・講座

- ・更年期から考える老後
- ・男性料理教室
- ・再就職するために
- ・女性のための自己表現
- ・親子でリズム体操
- ・絵本カフェ など



女性のための相談室

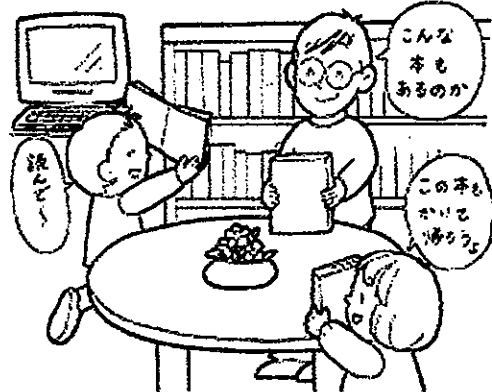
相談は無料で、秘密は厳守します

- 電話相談 (0794-89-2354)
火曜10時~12時
木曜13時~16時
- 面接相談<要予約> (0794-89-2331)
火曜13時~16時
木曜10時~12時



図書・情報コーナー

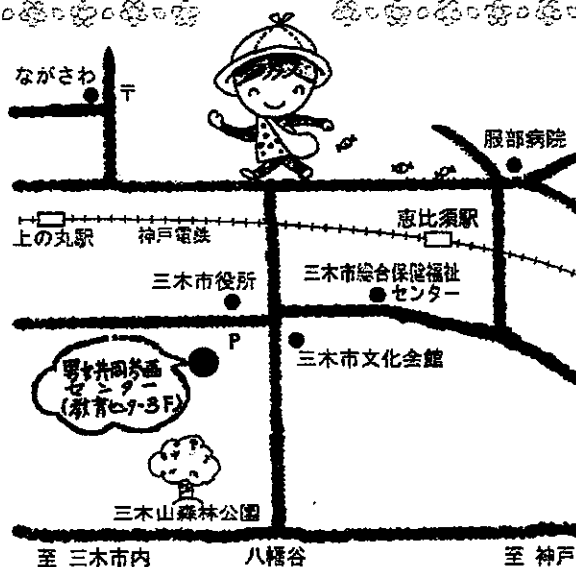
パソコンも使えます



三木市男女共同参画センター (愛称こらぼーよ)

〒673-0433
三木市福井 1933-12
(教育センター3F)
TEL&FAX 0794-89-2331
開館時間 9:00~17:00
休館日 土・日・祝日・年末年始

E-mail: jinken@city.miki.lg.jp
ホームページや広報みきもご覧ください



編集後記

新しいメンバーも入り、紙面を一新しました。これからも読んでくださるみなさんに喜んで頂ける情報誌を目指します。応援よろしくお願ひいたします。(^^)

企画編集: 情報誌こらぼーよ
編集グループ
発行: 三木市男女共同参画センター
表紙イラスト: 小塩 雅子